

# 一流の町づくりに 普遍的価値を



南雲和夫

町の経済は歴史、文化、自然の共生と密接な関係にあり、一流の町と言われる施策としてどのように考え行動し、具現化していくかが課題である。また住民にとっても誇りが持て、観光立町の町として住みよい環境でなければならぬ。そしてそのタイミングと地の利は欠くことの出来ない条件であり、2014年の北陸新幹線の開通へ普遍的価値を見据えた対応が急がれる。

## 質問

環境美化の一步とし、生活道路周辺の草刈などシステムとして考える時期に来ていると考えるが。

## 町長答弁

誰でもが住んでみたい町にするためには、きれいで清潔な町づくりが不可欠であり、関連組織と協力をしながら、自分が住んでいる所は自分できれいにするという姿勢に務め、意識改革に努力してまいりたい。

## 質問

童画美術館は町の文化交流基地として、街並み景観、東口商店街の活性化や地域間交流など、観光としても複合的効果が考えられる。基金の運用と合わせ総合的に判断するとしたが。

## 町長答弁

童画の町湯沢は私の検証する構想に資すると考えている。また観光面でも大きな財産になると思っている。財政事情から事業に優先順位を付けざるを得ないが、職員の提案と併せ国の交付金事業などの予算が取れるようであれば、真剣に取り組みをしていきたい。

## 美術館〈童画館〉建設について

生涯学習推進の観点からも町民ギャラリーの要望と声があり、教育長としての基本的な考えが求められている。課題の整理、検討は本当になされているのか。

## 質問

○建設にあたっての基本的

一般質問

な考え、コンセプトは。  
○寄託作品の利用方法と川上家との契約はどう考え進めていくのか。  
○理解が得にくい環境との認識の起因はどこにあるのか。また町民への喚起をどう導き出していくのか。

## 教育長答弁

○私案としては、川上作品と童画展作品の展示、企画展と町民ギャラリーなどの利用方法が考えられる。また雪国館や川上作品、今後の童画展の展示の方法等すべて一貫したものだとして、運営面とあわせ成功に導くにはどうか時間か必要であり、引き続き検討していきたい。

○有効活用のプランを求められており、審査員である豊口先生に童画展作品の有効活用と併せて相談したい。3月には川上家からも意向を伺い、検討委員会設置時期の検討をしたい。  
○運営面、採算的には全国的にも非常に難しい現実がある。童画の町としてのイメージが町づくりに大切であり、目に触れる展示方法など広く意見をいただきたい。



第11回全国童画展最優秀作品  
童画美術館建設の検討をしているか